

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

現在、内分泌外科では、本学で保管している診療後の診療情報等を使って、下記の研究課題を実施しています。

この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の研究内容の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報等を「この研究課題に対しては利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、下欄の研究内容の問い合わせ担当者までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[研究課題名] Mild autonomous cortisol secretion (MACS)および非機能性副腎皮質腺腫に対する片側副腎摘出術後の副腎皮質機能の評価

[研究対象者]

2013年1月～2026年1月までの間に、内分泌外科にてサブクリニカルクッシング症候群または非機能性副腎皮質腺腫と診断され、内分泌外科で診断・治療を受けられた方

[利用している診療情報等の項目]

診療情報等：診断名、年齢、性別、入院日、既往歴、併存疾患名、血液検査、画像診断、病理診断

[利用の目的] （遺伝子解析研究： 無 ）

サブクリニカルクッシング症候群または非機能性副腎皮質腺腫の術後にステロイドの補充が必要かどうかを判断する因子を見つけることを目的としています。

[研究実施期間] 倫理審査委員会承認後より2027年3月までの間（予定）

[この研究での診療情報等の取扱い]

本学倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした診療情報等には氏名、生年月日等の情報を削り、個人が特定されることがないように加工をしたうえで取り扱っています。

[機関長、研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者]

機関長：東京女子医科大学 理事長 清水 治

研究責任者：東京女子医科大学 内分泌外科 准教授 堀内喜代美

研究内容の問い合わせ担当者：東京女子医科大学 内分泌外科 吉田有策

電話：03-3353-8111（応対可能時間：平日9 時～16 時）